

2013年
5月



遠出をして川遊びをしている子供たち！

特定非営利活動法人 礎の石孤児院理事長

北野 直人

皆さんの御支援、いつもありがとうございます。全国的に春の暖かな陽気を感じるこの頃ですが、私の居住する旭川でもやっと春らしくなってきました。この陽気と裏腹に、関西、東北、三宅島と、少し大きな地震が相次いでいます。この地震の中、近い将来起こるとされる東南海地震を危惧する専門家の方もおられるようで、本当に予断を許さない状況を思わされています。大きな災害が起これば、また、助ける必要のある子供たちも当然大勢でできます。私たちが日本に児童養護施設を、と思っている理由もそこにあります。しかし、今回は私どもの運営してしる孤児院の経済の必要のために、この紙面を通して皆さんにお願いしたく、この原稿を執筆しております。ホームページにも掲載させて頂きましたが、特に急ぎのものとして、ザンビア孤児院の子供たちの教育費（29万円）です。また、カンボジアやフィリピンの孤児院でも、同じように多くの必要があります。どうか皆さんの御支援、サポート、これからもよろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を心から感謝申し上げます。カンボジアは4月に新年を迎えます。（4/11 現在）学校は2週間前後の休みがあり、毎年この時期だけはスタッフ達も交代で休みを取っています。通常より少ないスタッフ体制の中、働きが守られるように、怪我・事故・病からも守られるように、というのが毎年この時期の願いですが、幸いにして、子ども達も毎年成長しているので、たくさんの助けをしてくれるようになりました。今年は、新年の帰郷ラッシュが始まる前に、少し遠出をして子ども達も自然の中で楽しく遊ぶ時を持ちました。3月と4月に日本の社団法人「ASEAN プロジェクト支援機構」の皆さんが訪問して下さい、お米や砂糖、塩などたくさんのご支援を頂きました。特に新年を迎えるにあたり、必要なものがありましたので、皆様のご支援に感謝しています。最後に、中学と高校を受験した6人の子ども達全員の合格の知らせを受けました。さらに、後期試験に向けてよい準備が出来るようにと、祈り願っています。



元気いっぱいの子どもたち！

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピン孤児院へのご支援を心から感謝致します。今年度、あらゆる助けによって子どもたち全員、無事進級することが出来ました。改めて本当にご支援をありがとうございます。今年、台風によって大洪水など、悲惨な出来事がたくさんあり、各自の目標の達成に向かって努力するのは、それほど簡単なことではありませんでしたが、子どもたちが学校へ行くことが出来るように支えてくださっている多くの方々がいることを忘れないようにと伝えた時、子どもたちは再び元気を取り戻し、勇敢に進み続けることが出来ました。スアワン孤児院の高校二年生のマイリン・トリバージョは学年で二位、クラスで一位



表彰されたジェニー！

の優秀な生徒として表彰されました。ダバオのジェニー・オラートは4月2日、校内のクラス対抗理解力コンテストでチャンピオンになり、金メダルをもらいました。今期の学年が無事終了しました。皆様の経済的なご支援を心から感謝いたします。さらに来季に向けて、学校の登録費や授業料の他に、制服や学用品などの必要があります。子どもたちが学校を続けることが出来るように、是非、ご協力をよろしくお願い致します。

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリ ボワンジ（こんにちは）皆様のご支援に心から感謝申し上げます。
 イラクでの地震、アメリカでのテロ、北朝鮮の問題等、世界では緊迫する状況が起きています。ザンビアの子ども達も、常に日本のことを心に覚えて、日本の平和を願っています。先月のニュースレターでもお知らせをさせていただきましたが、マリア、フィデリスとテリースの進学費用がまだ満たされていない状況です。マリアは中学校3年への進級のため、7万5千円の授業料（1年間）フィデリスとテリースは、高校への進学のため、入学金や制服等の支度金1万円と、授業料10万5千円（年間）×二人分で21万円が至急必要とされています。どうか、引き続き、ご支援のほどをお願いいたします。カセンガの孤児院から、デビットとカレブがホリデーで来ています。久しぶりに共に過ごすことの喜びをかみしめると共に、身長がぐんぐん伸びていることにも驚かされます。洋服（上下）と靴がまた必要とされています。このことも合わせて、サポートをよろしくをお願いいたします。



一生懸命ゴスペルを歌う子どもたち！

ブラジル孤児院レポート

松本 弘子

皆様のご尊いご支援とご協力をありがとうございます。アラサトゥーバは雨期が続いていますが、寒いと感じる日もあるほど7気温がぐっと下がってきました。その合間に私が住んでいる家の屋根裏にある水槽を直す工事をしていただき、上水道設備が復旧しました。水が自由に使えることを心から感謝して、水を楽しみました。私は一人で生活していて自分の写真を撮ることができないので、今回は近くのカフェに行って、撮っていただきました。今回の写真は、大家さんのお友達でレストランのオーナーの方に、お食事に招いていただいた時に撮っていただきました。異国で文化や習慣、価値観もまったく違う土地に生活している中で、いつも助けを受けています。このレストランには福島に建設予定の児童養護施設への寄付要請のためのパンフレットを置かせていただくなどのご協力を受けています。今回は土地を購入することができたことを報告することができました。さらなる協力を約束してくださり、この場をお借りしてお礼申し上げます。



オーナー宅での松本スタッフ！

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>